

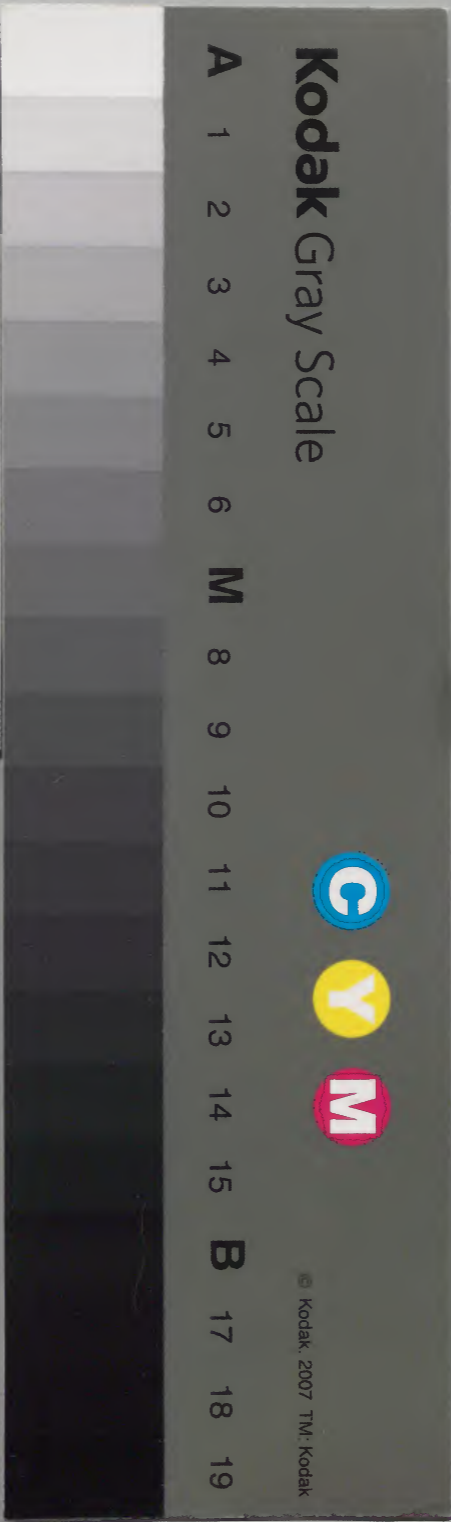
岷江入替

野分

和書門類	二七九一一號	八七函	一三架	五四冊
------	--------	-----	-----	-----

內閣文庫	二七九一一號	五函	八架
------	--------	----	----

內閣文庫	
番號	和 27911
冊數	54 (28)
函號	203 28





明治十三年
秋



形分

廿六歳 志政大臣

中入所氣種秋花

八月 形分

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

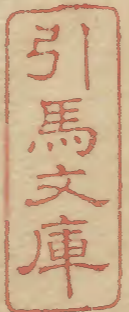
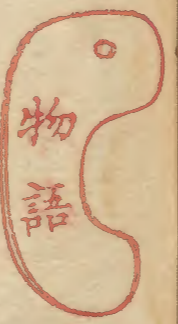
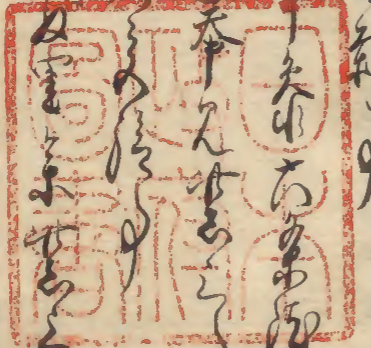
中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花

中入所氣種秋花



治行 五方里 治行

治行 治行 治行 治行

中將 申 現 治行 治行

中將 奉 治行 治行

中將 又 奉 治行 治行

白 新 道 行

野分

以 新 為 卷 之

皇 二 年

以 是 野 分 治 行 治 行

以 野 分 治 行 治 行

秘 卷 之 以 記 号 之 源 亦 六 月 廿 八 日 奉 皇 二 年

中 治 行 治 行

治 行 治 行 治 行 治 行

又 治 行 治 行

治 行 治 行 治 行

治 行 治 行 治 行

治 行 治 行 治 行 治 行

治 行 治 行 治 行 治 行 治 行 治 行

治 行 治 行

後 因 治 行 治 行 治 行

初より芳れ光る

15 送る人よりこころを伝へてむかしもよそへてはなれぬと云ふ

16 けしきもよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

17 深き水に

あはれなるをよめかたのふり

18 暮れ乃ちあはれなるをよめかたのふり

早稲あはれなるをよめかたのふり

競情下まのり可成り

よめかたのふり

山と云ふ人

あはれなるをよめかたのふり

くさくさ

19 樹下集

日向れたるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

20 後述

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれなるをよめかたのふり

あはれむしき御事
御事
御事

御事
御事
御事

御事
御事
御事

御事
御事
御事

御事
御事
御事

御事
御事
御事

御事
御事
御事

御事
御事
御事

天曆六年八月十五日崩
朱在法皇

坊八月薨事例未勅

野分也の方々々々 暴死 野分

八月廿五日乃時
乃送言
秋の薨

皇太子 皇太子

八月廿五日乃時

八月廿五日乃時
乃送言
秋の薨

似たり 仍ば然乃果承丸小興ツル一のふととる西宮の
 浪乃をみるとと事此西宮ノ下ノ人等通リて西ノ門ノ
 心卜期スル必タウ物ニナレハ必タスルナリ難ト云フナリト
 仁王経ニ毛事手願達樂手非俱ナリト説ク可付眼 誠
 仁和三月廿日自卯刻暴風西北風抜樹人家顛倒
 延喜十三八一申刻大風折樹破屋

天慶五八月十一大風暴雨如延喜
 康保二八廿八大風諸司并京中損

永祚元八十三酉刻大風宮城門舎以下京中顛倒又賀茂上
 御社石清水御殿東西廊祇園天神堂九一条北辺新回堂舎
 東西山寺皆顛倒

同二年十一月七日改元為正曆依去年八月大爪也

已上

一思い西人
 申及乃所公一信と身一やく思ひ入る況金中入
 乃所公乃中ノ切形るる多ふと云フ

何れよりし乃病れぬ

百介躬信もあられと云りしにたりし一りも云し
 福は

神の御言はし
 神の御言はし

申及の四つは
 申及の四つは

大元ふれげしとありし神もまを溪を流るり
 御言はし

神は
 神は

此の神はし
 此の神はし

神の御言はし
 神の御言はし

神の御言はし
 神の御言はし

鎮維一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

あはれなりけり

風を以て言ふにや

此海に於て其風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

此風を以て言ふにや

中... 乃... 乃...

三系... 乃... 乃...

一... 乃... 乃...

二... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

了死にけりては 名をばけりけり

やうにけりては 何れも 此 白雲渡殿程は昔 孫九を吹

此 醍醐瓦而推垣抄 此 凡もも前

よふてはれりては 何れも

世白ふれけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

は 名をばけりては 名をばけりては

心りばれりては 名をばけりては

マへてあれ

心りばれりては 名をばけりては

可法よりのありて

あつてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

らりてはれりては

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

あつていふこと

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

昇

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



しるしをいへりて

父をいへりて

しるしをいへりて

ほのすゝめ

しるしをいへりて

あはれ

しるしをいへりて

あはれ

しるしをいへりて

あはれ

しるしをいへりて

あはれ

あはれ

しるしをいへりて

あはれ

しるしをいへりて

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

しるしをいへりて

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

つぎのれいふくふくしはあはれなり  
お通さるしは他可也思ふこと  
細くはるしは

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

あまのこゝろに... 御筆

第百廿四巻の事此の事相違得たヤウの所行  
也りり人々の信する人々の事にてハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハトハト  
丁々々々々々々々々々々々々々々々々々々々  
此の事にてハトハトハトハトハトハト  
此の事にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト

此の事にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト

此の事にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト  
いふ所にてハトハトハトハトハトハト

胸のくくくくくく  
或はくくくくくく

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

申す方ありて  
御同教百回同客候可  
アケケノスカカ

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

或はくくくくくく  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

申す方ありて  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき

申す方ありて  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

かきかきかきかき  
かきかきかきかき  
かきかきかきかき

しんがうのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

あまのうた

らんほく乃可乃海に... 痛し目に見えぬ  
ほく乃可乃海に... 痛し目に見えぬ

はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる  
あひなほ乃海に... 痛し目に見えぬ  
はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる  
はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる  
はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる  
はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる  
はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる  
はみなりとせしむるはかたきなりとせしむる

あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ  
あふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよはあふらふよ

ふもほりふほり

私にふほりふほり

わんわん

ふもほり

しん

ふもほり

しん

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり

ふもほり







此の事は... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書

... 御書



もたて入御の... したまひ... したまひ... したまひ...

く... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

い... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...

あ... せしめ... せしめ... せしめ... せしめ...



あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あまのついでにふりかへりてふはるのうらみ

あはれなるも... 高瀬乃根... 梅... 是... 井... 川

あはれなるも... 高瀬乃根... 梅... 是... 井... 川

夕暮乃... 夕暮乃...





わたりつゝの御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

御座り候と云ふ事候は  
御座り候と云ふ事候は

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

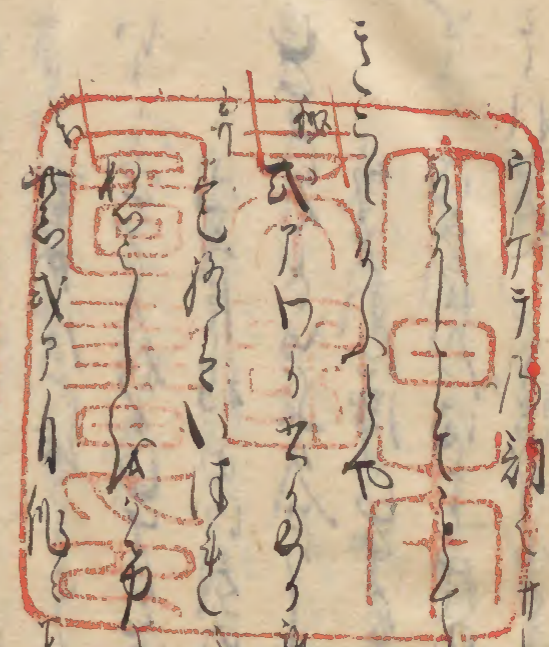
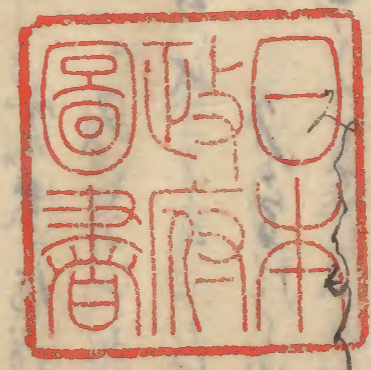
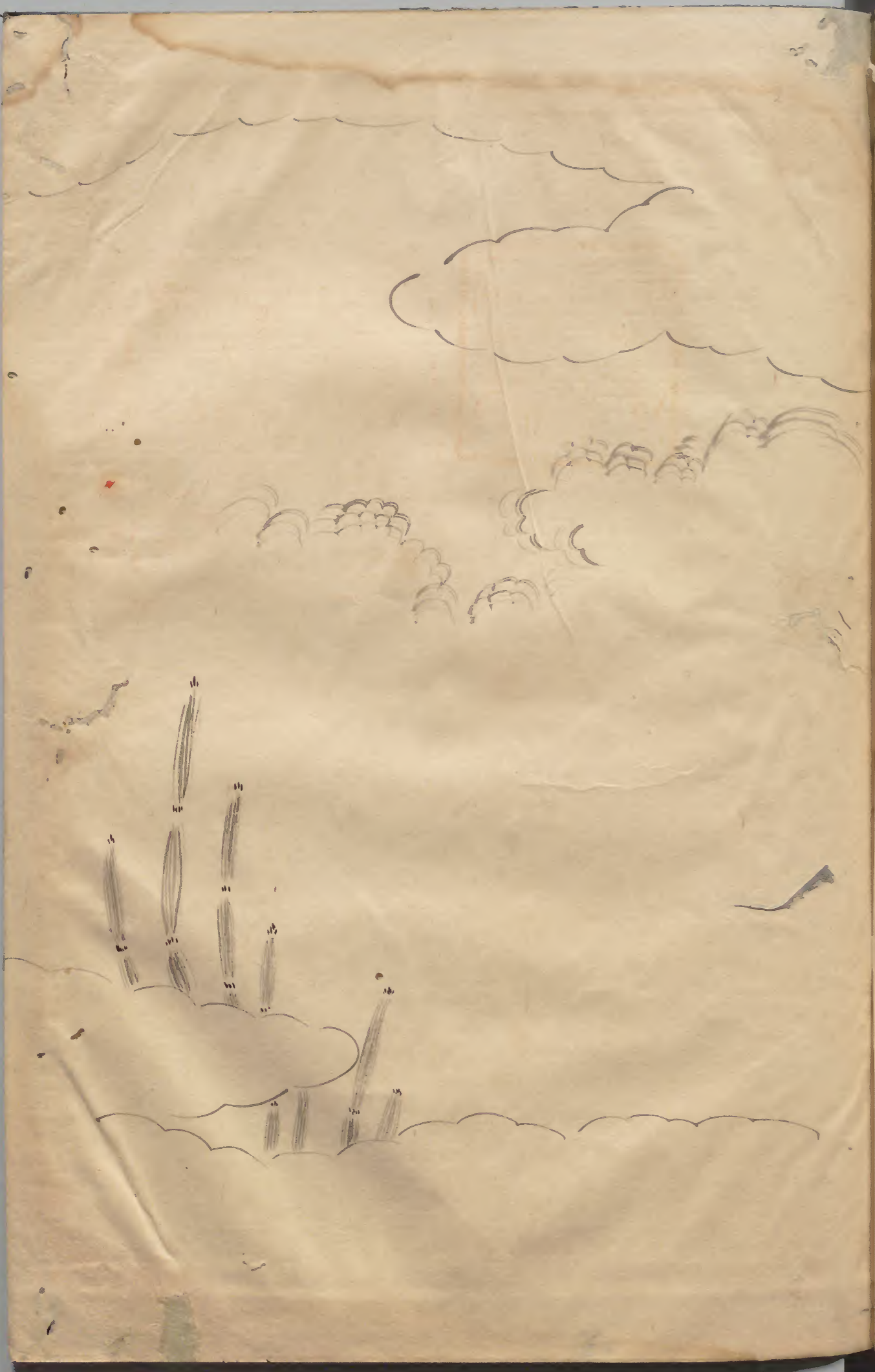
いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...

いづれか...  
あて...  
の...  
の...  
の...



Handwritten text in cursive (sōsho) style, written vertically on the right page. The text is partially obscured by the red seals and appears to be a library inventory or acquisition record. Some legible characters include '日本書院蔵' and '引馬文庫'.



